

全国高等学校総合文化祭ってどんな大会？



全国の高校生が集結！
「文化部のインターハイ」とも
呼ばれています！

全国高等学校総合文化祭（通称・総文祭）は、年に1度、全国から高校生が集まり、演劇や吹奏楽の発表、写真や美術・工芸、新聞の展示などを行う文化の祭典です。高校生の運動部の全国大会「インターハイ」（全国高等学校総合体育大会）に対し、「文化部のインターハイ」とも呼ばれています。主催は文化庁、全国高等学校文化連盟、開催県・市町村で、昭和52年に千葉県で第1回が開催されました。以降、各道府県で毎年開催されており、本県での開催は今回が初めてです。開催期間中は、全国から高校生2万人を含む約10万人が本県を訪れ、そのうち約2万7千人が本市を訪れる見込みです。



長崎大会の愛称と
キャッチフレーズも
長崎の高校生が考えました！

本県で開催される総文祭の大会愛称とキャッチフレーズ、マスコットキャラクターなどを平成22年度に募集しました。大会愛称は応募総数1,793点の中から、高田智宏さん（長崎工業高3年・当時）が考えた「2013 長崎しおかぜ総文祭」に決定しました。海に面した本県をイメージし、夏に開催される大会にふさわしい、さわやかさが表現されています。大会キャッチフレーズは応募総数4,444点の中から、山崎早也香さん（長崎女子商業高2年・当時）が考えた「集え長崎 帆を張れ 文化の船に」に決定しました。全国から参加する学校を船に見立て、港まちである長崎の港に集う様子がイ

メージされています。他にも大会ロゴマークやイメージソングなども決定しています。



本市では「合唱」「吹奏楽」
「日本音楽」「書道」などを
開催します！

長崎しおかぜ総文祭では、総合開会式やパレードのほか、規定部門（毎年必ず開催する部門）として演劇、合唱、吹奏楽など19部門、協賛部門（開催県独自に企画し、開催する部門）として図書、郷土研究など5部門を開催。そのうち本市では、規定部門の「合唱」「吹奏楽」「日本音楽」「書道」「写真（撮影会）」と、協賛部門の「特別支援学校（生徒の作品展示、和太鼓演奏など）」を開催します。部門によっては出場する高校生同士の「交流会」も併せて開催します。長崎の高校生は県外の高校生をもてなすため、主体となって大会を企画・運営します。



順位を競うのではなく、
全国の高校生が発表を通して
交流を深める「文化の祭典」！

総文祭を「文化部のインターハイ」と紹介しましたが、総文祭は他県の高校生と対戦し勝ち進んで順位を決める大会ではありません。総文祭の目的は、日ごろから芸術文化活動に取り組む高校生が、都道府県代表という誇りを胸に高い実力を披露し合い、同じ分野で活動する全国の高校生と交流を深める貴重な機会となることです。一部の部門では順位を付けますが、多くの部門で順位を付けない「文化の祭典」です。

特集 全国の高校生の文化の祭典、長崎で開催！ 7/31(水)〜8/4(日)

2013 長崎しおかぜ総文祭

文化活動に取り組む都道府県代表の高校生が集まり、演劇や吹奏楽など24部門の発表を行う「2013 長崎しおかぜ総文祭」（第37回全国高等学校総合文化祭）が、7月31日（水）から8月4日（日）まで県内の15市町で開催されます。今回の特集では、総文祭の概要や出場に懸ける高校生の意気込みなどを、総文祭マスコットキャラクターの「美龍」がご伝えます。



総文祭に向けて練習に励む聖和女子学院高コーラス部の皆さん（合唱部門に出場予定）

平成24年夏に富山県で開催された「全国高総文祭とやま2012」の会場の様子



写真部門の作品展示会場の様子



書道部門の作品展示会場の様子



小倉百人一首かるた部門の会場の様子



「美龍」
長崎らしく「龍」をモチーフにして生まれたキャラクター。
チャイナ服を着た女の子です。
●キャラクターの作者：森穂乃花さん（五島高3年・当時）
●愛称の作者：原塚璃穂さん（長崎北高1年・当時）



吹奏楽部門で出場を目指す正木剛徳さん
(佐世保北高2年・吹奏楽部)

吹奏楽を通して長崎の良さを広める機会に

私は中学1年のとき、2年上の先輩に誘われて吹奏楽の魅力にはまり、それ以来「ユーフォニアム」という金管楽器を演奏しています。今は長崎しおかぜ総文祭の東北地区合同チームに入るため、オーディションに向けて日々練習に励んでいます。

総文祭の吹奏楽部門は、全国から強豪校を含むいろいろな学校が集まって、演奏を披露します。どのバンドも自分たちの感じるままの音楽を表現すると思うので、市民の皆さ

んにはぜひ会場で、高校生の気迫と、まっすぐに音楽に向き合う心を感じとってもらえればいいなと思います。

私は日ごろから長崎県民であることに誇りを持っているので、総文祭の開催を通して、全国から集まってきた高校生に長崎の名所や独特な街の雰囲気などを自慢したいと思います。長崎県民は元気で、親しみやすい人が多いと思うので、そういう長崎の良さや魅力も県外の人にとってほしいです。



日本音楽部門に出場する
佐世保南高邦楽部の皆さん

日本音楽の素晴らしさを伝えたい

日本音楽部門では都道府県を代表する団体が、琴や三味線、尺八など和楽器による演奏を披露します。総文祭の上位4団体に与えられる東京公演への出場権を懸けて、演奏の技術を競います。曲は古典的なものだけでなく、現代風のものや明るくリズムカルなものもあります。

長崎県の代表には私たち南高邦楽部が選ばれました。メンバーは5人と少ないですが、演奏しながら感じるほんの小さな喜びも5人で分かち合え

るし、仲が良く絆も強いです。曲中は1つのパートを1人で演奏することもあり、難しい面もありますが、それぞれが自分のパートに責任を持って完璧に弾けるように練習しています。

総文祭の目標は、私たちにできる最高の演奏を披露することです。聴いている人に感動を与えられたらいいなと思います。多くの人はこのような発表会があることを知らないと思うので、ぜひこの機会に日本音楽の素晴らしさを感じてください。



総文祭の開催に懸ける意気込みを高校生に聞きました！

2013 長崎しおかぜ総文祭は、生徒実行委員会が中心となり、高校生のアイデアと行動力で大会の企画・運営を進めています。この委員会の副委員長を務めている今村さんと、本市で開催される「合唱」「吹奏楽」「日本音楽」「書道」の4部門への出場に向けて練習に打ち込む高校生に、大会の見どころや出場に懸ける意気込みなどを聞きました。

高校生が文化で長崎を盛り上げます！

長崎しおかぜ総文祭の開催に向けて、県内全ての高校から選ばれた高校生による実行委員会が組織され、その中に、生徒実行委員会執行部(総勢39人)があります。そこからさらに6人が選ばれて「生徒実行委員会執行部役員」として活動し、全体の総括的役割を務めます。

総文祭の見どころは、全国レベルの高校生の表現の個性やパワーを感じられるところです。同じ部門でも、出場する高校ごとに表現の個性があり、粋にとらわれず意外性のあるものが多いので、初めて見る人でも十分楽しめると思います。そして、総文祭に関わる高校生自身が、「どこかの学校が目立つことよりも、みんなで長崎を盛り上げていこう」という思いを持っているので、その思いが表現へのパワーとなって見る人に伝わると思います。

生徒実行委員会のメンバーは全員高校が違うけれど、仲が良く、元気もあり、「大会を成功させよう」という気持ちが強いです。多くの人に「2013 長崎しおかぜ総文祭」を知っていただけるように力を合わせて活動していきますので、皆さんもぜひ注目してください！



2013長崎しおかぜ総文祭生徒実行委員会
副委員長 今村貴登さん(佐世保北高2年)



書道部門に出展する椎山愛菜さん
(佐世保西高2年・書道部)

書道のイメージが変わる大会に

書道部門は、都道府県の代表生徒が制作した300点以上の作品が会場に展示されます。長崎県からは私も含めて4人が出展します。

書道はさまざまな書体や書き方、手法で文字に迫力を出したり、独特の雰囲気表現したりします。書くだけでなく、石や木に文字を彫る「篆刻」という手法で字を表現する人もいます。書道になじみがない人でも、作品を見れば、「書道ってこんなにも幅広い表現方法がある、素晴らしい

『芸術』なんだ」ということを知ってもらえると思います。これまでの書道に対する皆さんのイメージが変わる大会になると思うので、ぜひ多くの人に見に来てほしいです。

私個人のこととしては、自分が住んでいる佐世保で大会が開催される上に、県の代表として出展もできるので、精いっぱい努力して良い作品を書き、県外の人に地元の意地を見せられたら、そして県民の皆さんに喜んでもらえたらいいなと思います。



合唱部門に出場する花田桃子さん
(聖和女子学院高2年・コーラス部)

歌で見る人を楽しませ、感動を与えたい

合唱部門では、長崎は合同チームとして、県内の合唱部全員で出演する予定です。総勢400人くらいがステージや通路に並んで歌うなど、総文祭ならではの演出を考えています。

合唱は自分の声が楽器だから、合わせるのが簡単だと思われがちですが、日によって自分の体調が違ったり、周りとうまく合わせられない時があったりして意外と難しいんです。日ごろから、仲間とのつながりを大切にしていないと、良い合唱はでき

ません。私はそこに合唱の魅力を感じ、楽しいなあと思いながら歌っています。

総文祭が長崎県で開催されるのは47年に1度だけ。この貴重な機会に、合唱の楽しさを多くの人に伝えたいと思います。合唱部門の高校生が一つになり、最初から最後まで見ての人を楽しませ、感動を与えることを目指して頑張りますので、当日はぜひ会場に見に来てください。



「2013長崎しおかぜ総文祭」開催部門・会場・日程一覧表

「2013長崎しおかぜ総文祭」の部門ごとの主会場と開催日程をお知らせします。当日はぜひ会場で、全国の高校生が表現する芸術文化を鑑賞してください。総文祭に関する情報は今後も広報紙などでお知らせしますので、どうぞご期待ください！

開催部門	主会場の施設名など	開催市町	日程	
総合開会式	県立総合体育館	長崎市	7月31日(水)	
パレード	長崎水辺の森公園周辺	長崎市	7月31日(水)	
演劇	長崎市公会堂	長崎市	8月2日(金)～4日(日)	
合唱	アルカスSASEBO	佐世保市	8月4日(日)	
吹奏楽	アルカスSASEBO	佐世保市	8月1日(木)～2日(金)	
器楽・管弦楽	長崎ブリックホール	長崎市	8月3日(土)～4日(日)	
日本音楽	佐世保市民会館	佐世保市	8月2日(金)～3日(土)	
吟詠剣詩舞	松浦市文化会館	松浦市	8月4日(日)	
郷土芸能	島原復興アリーナ	島原市	7月31日(水)～8月2日(金)	
マーチングバンド バトントワリング	シーハットおおむら	大村市	8月2日(金)	
美術・工芸	長崎県美術館	長崎市	7月31日(水)～8月4日(日)	
書道	佐世保市体育文化館	佐世保市	7月31日(水)～8月3日(土)	
写真	長崎歴史文化博物館	長崎市	7月31日(水)～8月4日(日)	
	撮影会	佐世保市	7月31日(水)	
放送	諫早文化会館	諫早市	8月3日(土)～4日(日)	
囲碁	時津町コスモス会館	時津町	8月3日(土)～4日(日)	
将棋	時津町コスモス会館	時津町	7月31日(水)～8月1日(木)	
弁論	東彼杵町総合会館	東彼杵町	8月2日(金)～3日(土)	
小倉百人一首かるた	県立総合体育館	長崎市	8月2日(金)～4日(日)	
新聞	長崎新聞文化ホール	長崎市	7月31日(水)～8月4日(日)	
	県立大学シーボルト校	長与町	7月31日(水)～8月4日(日)	
文芸	文学散歩	長崎市	8月2日(金)	
		西海市	8月2日(金)	
自然科学	島原文化会館	島原市	8月2日(金)～4日(日)	
	巡検	雲仙市	8月4日(日)	
		南島原市	8月4日(日)	
協賛部門	高校生文化祭 サミット	長崎ブリックホール	長崎市	8月1日(木)～2日(金)
	特別支援学校	長崎県美術館	長崎市	7月31日(水)～8月4日(日)
		JR佐世保駅周辺	佐世保市	7月31日(水)
	図書	市立諫早図書館	諫早市	8月1日(木)～3日(土)
	JRC・ボランティア	福江文化会館	五島市	7月31日(水)～8月2日(金)
		県立五島高校	五島市	7月31日(水)～8月1日(木)
	郷土研究	壱岐文化ホール	壱岐市	7月31日(水)～8月2日(金)
巡検		対馬市	8月2日(金)	

※各生徒への取材は平成24年11月下旬に行いました。

社会教育課 ☎24-1111



佐世保の高校生が出演する「吟詠剣詩舞」を紹介します！

「吟詠剣詩舞」は、漢詩や和歌などを吟じる「詩吟」と、剣や扇を用いて舞う「剣舞」「詩舞」が融合した日本古来の伝統芸能です。長崎しおかぜ総文祭の吟詠剣詩舞部門に出場する長崎県合同チームの林菜穂子さん、川口諒子さん、松本洋子さん(いずれも清峰高校1年・世知原地域在住)に話を聞きました。



ふくしま総文祭で吟詠剣詩舞を披露する高校生(平成23年)



(左から)林菜穂子さん、川口諒子さん、松本洋子さん

美龍：3人は幼稚園からの幼なじみだそうですね。林さんと松本さんは、おばあちゃんが詩吟の先生である川口さんに誘われて小学生の時に詩吟を始めたそうですが、詩吟の魅力って何ですか？

林：声を大きく出せるので、スッキリします。

川口：大会の時に着物を着ることができます。

松本：人の前に立つ機会が多くなります。

美龍：今はどのくらい稽古していますか？

川口：佐世保北、佐世保商業、聖和女子学院、佐世保中央、向陽高校(大村市)などにも合同チーム

のメンバーがいるので、月に1回、休日に集まって3時間くらい稽古します。それ以外は各教場で稽古しています。

美龍：大会への意気込みを聞かせてください。

林：昨年出場した富山県の総文祭での反省と経験を生かして、地元の長崎で活躍できたいいなと思います。

川口：長崎県代表として出場するので、しっかりと練習して悔いが残らないようにしたいです。それと、高校生だけの詩吟の全国大会はないので、総文祭は貴重な大会であり、良い経験にしたいです。

松本：県代表としてプレッシャーもありますが、他の県の高中生や地元の皆さんに自分たちの発表を見てもらえることをうれしく思います。長崎県合同チームの仲間たちと力を合わせて頑張ります。

美龍：本番が楽しみです。頑張ってください！